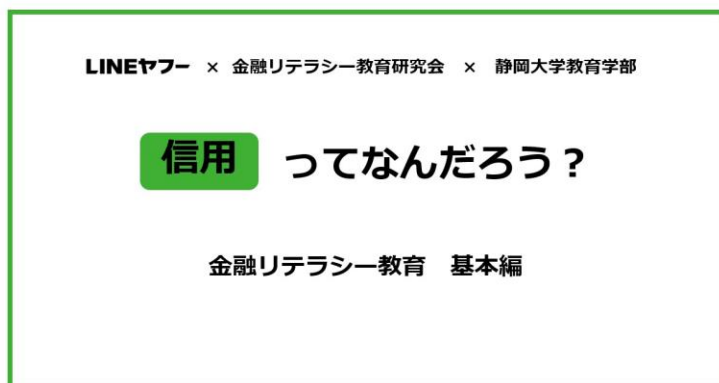


金融リテラシー教育(基本編)

一般生活において「信頼」という言葉と「信用」という言葉は同義的に扱われることが多いと思われませんが、これらの言葉が本当に同義なのか、別な意味合いを持つのでは？ということ金融リテラシー教育ではまず生徒に投げかけます。

そして、金融分野における「信用」とは、過去の実績や成果に基づく客観的なものであるということ、また「信頼」とは未来の行動を信じ期待するもので主観的な面があるということ、これらの違いを具体的な例示をもって指し示し、「信用」の獲得が「信頼」という未来創造につながってゆく、という関係性を学ぶことができます。



■ 授業の流れ



次に当てはまる言葉は「信用」と「信頼」のどちらでしょう？

- ①このバスケットボールチームには「信用」関係がある。
- ②はじめて来たけど、あの人は絶対に「信用」できそう。
- ③信頼もウソをついたら、誰からも「信用」されなくなった。
- ④あいつはずっと親友だから「信用」できるので友達そう。

「信用」と「信頼」の違いは何でしょうか？

・「信用」と「信頼」は似た言葉ですが、金融の分野において、その意味は違うものであることに気付きを設定します

・授業の中で「信用」と「信頼」を比較し「信用」とは何かを考えるとというテーマを投げかけます

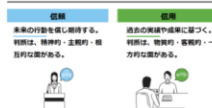
判断する際に「信用」する際にご確認ください



・「信用」と「信頼」について日常的な出来事に沿って例示を行います

・例示から得ることのできる「信用とは」「信頼とは」を考え、整理します

「信用」と「信頼」



・「信頼」は未来に向けた行動への期待、「信用」は過去の行動への評価、という定義に触れます。

・未来への「信頼」も過去の「信用」がベースになるということを説明します。

まとめ

- ・「信用」は、過去の実績や成果に基づき、「信頼」は、未来の行動を信じ期待する側面がある。
- ・「信用」がないと、将来、身や事を成す際に、お金を借りることができない可能性がある。
- ・個人の信用を顕微化する取り組みが続き、今後「信用」を高めることが重要となる。

・授業のまとめとして「信用」「信頼」の使い方について振り返ります

・「信用」を高めることの重要性について触れ、授業を終了します

ご利用ご希望の方は、以下リンク先のコンテンツ申請フォームよりコンテンツ取得の申請をお願いいたします。

スクールテンプレートコンテンツ申請フォーム